

## 第6学年1組 国語科学習指導案

指導者 高野 伸夫

1. 日時・場所 平成28年6月15日(水) 第5校時 13:35～14:20 6年1組教室

2. 単元名 私と本 ～エピソード「私」～

3. 単元のねらい

(1) 単元目標

心に残った本についてのエピソードを語り合うことで、自分と本との関わり方を広げる。

(2) 指導事項：読むこと

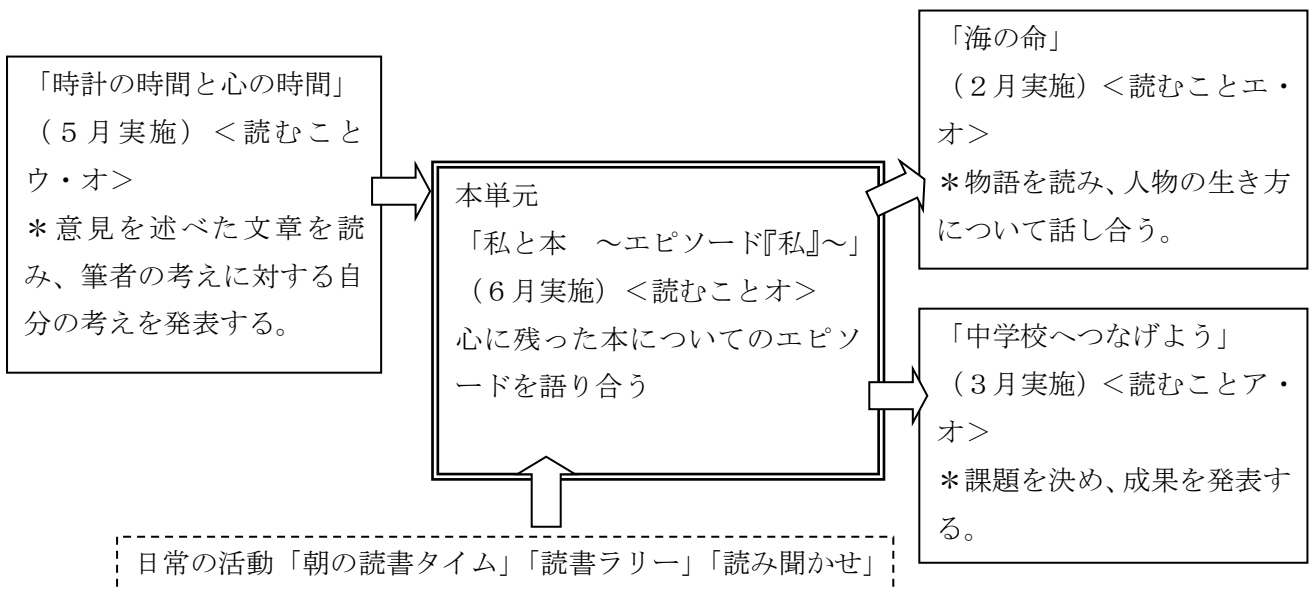
オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。

(3) 言語活動 心に残った本についてのエピソードを語り合う。

4. 評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの読書体験をふり返り、本との関わりについて考えようとしている。</li> <li>・自分と本との関わり方を見直して広げようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と本とのエピソードを友だちと語り合い、本との関わり方を見直して広げている。(オ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。</li> <li>(イ (ア))</li> </ul>

5. 単元構想図



## 6. 単元設定の理由

### (1) 児童の実態

読書に関しては大半の子どもたちが興味をもっている。毎週木曜日の朝の読書タイムでは、図書室から借りている本や、自宅から持ってきた本を呼んでいる子が多い。また図書係の子がクラスにお互いに家から持ってきた本を貸し出すコーナーを5月の下旬に設置した子たちがいた。係の子以外も自分のオススメの本を持ってきて貸し出しを行い、ちょっとした隙間の時間に本に親しむ姿が増えてきている。

しかしながら読む本のジャンルは個々の興味のある分野に限られていたり、読む冊数そのものも個人によってバラつきがあったりする。本単元の言語活動「心に残った本についてのエピソードを語り合う」活動を通じて、自分自身の本の読み方を見直したり、広げたりすることができるようにしたい。また読書への興味の幅が広がり、今後のより豊かな読書活動につながられるようになることを期待したい。

### (2) 学年テーマ「相手の思いや考えを受け止め、お互いの考えを深め合える子」に迫るために

#### 【研究内容1】主体的な学習を促すための言語活動の設定

##### ○単元の見通しをもつ

指導事項「読むこと オ」を受けて設定した。子どもたちが主体的に取り組めるように、1時間目に学習の見通しをもてるようにする。まずは教師が「私と本の関わり」をテーマに心に残った本について、そのエピソードを話す。その後、自分たちも同じように本の紹介をし合い自分自身の本の読み方や選び方を見つめ直す活動を行うことを子どもたちに伝える。このように本単元で行う言語活動と、その後の学習計画を単元の導入部で確認することで子どもたちの主体的な姿勢を促していきたい。

また本校では毎週木曜日の朝に読書タイムの時間を設定している。この時間を利用して、6学年の担任陣が他クラスに行き「私と本の関わり」をテーマに本を紹介する活動を行う。他のクラスの先生たちは、どのような本と出会ってきたのかを知る機会を多く設定することで、言語活動への興味も高まっていくと考えている。

##### ○学習する目的や価値を伝える

「お互いの考えを聞き合い、自分の考えを広げたり深めたりすること」の価値についても単元を通して子どもたちに伝えていきたい。子どもたち一人一人が「多様な考えを聞いて、思考を深めていく」こと自体が学習であり、学習する価値があるということを感じてもらわないことには主体的な学習は望めない。単元を通じて「〇〇さんの考えを参考にしました」「〇〇さんの意見を聞いて、考えが変わって」というような学習に臨む姿勢を認めたり、広めたりすることを心がけていきたい。

#### 【研究内容2】確かな言葉の力を育むための指導と評価

##### ◆本単元で評価したい子どもの姿

##### <1時間目>

教師が「心に残った本」を紹介し、その本とのエピソードを子どもに話す。その後、今までの「自分と本との関わり」をふりかえる。「自分と本との関わり」については「本からの影響」「どのような本が好きか」「どんな時に読むか」など、幅広い視点を紹介して、あまり本に関心をもっていない子ども学習への意欲がもてるようにしたい。

「自分と本との関わり」を話すのか。  
じゃあ僕は「モモ」にしよう。あの本  
が初めて読んだ分厚い本だったから  
ね。



「自分と本との関わり」を紹介するのか。私は推理  
小説が好きだから、自分の推理小説の楽しみ方につ  
いて話そうかな。



これまで自分が読んできた本をふり返り、どのような本と  
の関わり方をしてきたのか考えようとしている。【関】

< 4 時間目 >

それぞれが選んだ本について語り合う活動を行う。お互いに、「自分自身の本の読み方や本の選び方  
など本との関わりを見つめなおすための活動」ということを子どもたちと確認する。(このことは1時  
間目の学習計画の設定でも行うが、ここでも再度確認する)

交流するグループは、最初は教師が意図的に設定したグループで行うが、時間が余った場合は自由  
に席を移動して他の友だちと活動をして良いことを伝える。できるだけたくさんの友だちと語り合う  
ことで本との関わりが広がるようにしたい。

〇〇さんの話を聞いて「家族から勧められた本がきっかけで  
本が好きになった」ということが面白かったです。自分が選  
ぶだけでなく、他の人から勧められることでも興味を広げて  
いくことができるのだと思いました。



〇〇さんの話を聞いて、図鑑の楽しみ方があるんだと分かり  
ました。私は図鑑は調べることがある時しか開かなかっけ  
ど、暇なときに写真を見る楽しさもあるんだと分かりまし  
た。本の楽しみ方は、そんな方法もあるんだなと思いました。



自分と本とのエピソードを友だちと語り合い、自分と本と  
の関わり方を見直して広げている。【読オ】

### 【研究内容3】 日常的な言語活動の継続

今年度、6 学年では「読書ラリー」という活動を試みている。「児童の実態」でも記したように、子  
どもたちの読書傾向には偏りがある。自分の興味のある分野の本は読むが、それ以外には全く興味を示  
さない子どももいる。自分の興味のある分野があるということ自体は良いことだが、しかしながら思春  
期に入るこの年代には、やはり色々な分野の本に触れて自身の見聞を広めていくことが大切であると考  
えている。「読書ラリー」には川崎市立図書館が紹介している小学校高学年向きの本を載せている。1  
枚に30冊の本が掲載されており、全部読み終わったら次のプリントを渡す。本単元を通して子どもた  
ちの本への窓口が広がり、「読書ラリー」の取り組みが推進されていくことを期待している。

7. 学習計画（5時間）

次	時	評価規準【】 ☆評価方法	○学習活動	・指導上の留意点
一	1	<p>・これまでの読書体験をふり返り、本との関わりについて考えようとしている。【関】 ☆ワークシート、ノート</p>	<p>○教師の「心に残った本」と、その理由を紹介する。 ○学習計画を立てる。</p>	<p>・心に残った本について、その理由を語り合うことを伝え、子どもが単元のゴールをイメージできるようにする。</p>
			<p>○自分と本との関わり方（これまでどのような本を読んできたのか、どのような時に読んできたのか、どのような楽しみ方、どのような読み方をしてきたのか）をワークシートに書き込みながら考える。 ○今の自分の「本の読み方」や「本の楽しみ方」など、「自分と本との関わり」をノートに書く。 ○次時、「心に残った本」について読むことを伝える。</p>	<p>・ワークシートは綺麗に完成させることが目的ではなく、自分のこれまでの本との関わり方をふりかえるために使うことを確認する。  ・「心に残った本」を準備することを確認する。</p>
二	2		<p>「心に残った本」との関わりをふり返ろう。</p>	
			<p>○自分が用意した「心に残った本」を読み直す。  ○自分が選んだ理由や、紹介したい本の内容をメモする。</p>	<p>・もう一度、じっくりと読み直して「自分と本との関わり」をふり返るために行うことを確認する。</p>
	3		<p>○ミニPOPの作り方を全体で確認する。  ○自分が選んだ「心に残った本」と「自分と本との関わり」についてのメモを作る。</p>	<p>・ミニPOPを作る時に、「自分と本との関わり」について触れるように例を示しながら説明する。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉との違いを考え、ミニPOPを作り、本の紹介の練習をしている。</li> <li>【言】 ☆ミニPOP、発言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分が選んだ「心に残った本」と「自分と本との関わり」を話す練習をする。</li> <li>○次時の活動の確認をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習する時は隣の席の児童と行う。</li> <li>・次時はお互いの「心に残った本」を紹介し合う活動を行うことを確認する。</li> </ul>
三	4 本 時	みんなと「心に残った本」について語り合い、読書に対する考えを深めよう。		
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と本とのエピソードを友だちと語り合い、本との関わり方を見直して広げている。【読オ】 ☆ノート</li> <li>・自分と本との関わり方を見直して広げようとしている。【関】 ☆感想</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お互いの「自分と本との関わり」について語り合う。</li> <li>○「自分と本との関わり」についての感想をノートに書く。</li> <li>○前時に友だちが紹介した本を実際に読んでみる。</li> <li>○読んだ感想を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループは、最初は教師が意図的に設定した班で行う。できるだけたくさんの仲間と交流するために早く終わった班から、新しい2～3人のグループを作って交流して良いことを伝える。</li> <li>・感想は「自分の本の読み方、選び方」「本から影響されたこと」「読みたくなる時」など、自分と本との関わりというテーマから反れないように確認する。</li> <li>・本の内容もさることながら、友だちのエピソードにも関心をもって読んでいくことを伝える。</li> <li>・感想を手紙形式にして、その本を紹介した相手に渡せるようにする。</li> </ul>

8. 本時の展開 (4 / 5)

(1) 目標 自分と本とのエピソードを友だちと語り合い、自分と本との関わり方を見直して広げる。

(2) 展開

評価規準【】 ☆評価方法	学習活動	・指導上の留意点
<p>・自分と本とのエピソードを友だちと語り合い、本との関わり方を見直して広げている。【読オ】 ☆ノート</p>	<p>1. 本時のめあてを確認する。</p>	
	<div data-bbox="240 456 1382 528" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>みんなと「心に残った本」について語り合い、読書に対する考えを深めよう</p> </div> <p>2. お互いに持ち寄った「心に残った本」について語り合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この本は父親からプレゼントされた本だから思い出に残っている。</li> <li>・この本を読んで野球がうまくなるきっかけになった。</li> <li>・電車が好きで、電車の図鑑をたくさん読んでいる。</li> </ul> <p>3. 友だちと語り合った感想をノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼントされるとその本を長く大切に読むようになるのだと思った。僕もその本を読みたい。</li> <li>・実際の生活に役立つ本もあることを知った。自分の生活に活かせることは良いことだと思う。</li> </ul> <p>4. 感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの話を聞いて「家族から勧められた本がきっかけで本が好きになった」ということが面白かったです。自分が選ぶだけでなく、他の人から勧められることでも興味を広げていくことができるのだと思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループで活動する。最初は教師が意図的に設定したグループで行う。時間が余った場合は、自主的にグループやペアを作って語り合って良いことを伝える。</li> <li>・友だちの本のエピソードを聞いて、「自分の本との関わり方」を比較しながら書くように伝える。</li> <li>・1時間目にしたワークシートを見て、「自分の本との関わり方」を確かめながら書くように伝える。</li> <li>・全員が発表する時間はないので教師が意図的に指名をする。それまでの本との関わり方から変容があった子を指名して、まだ書き終わっていない子にとって具体的な指針となるようにする。</li> </ul>